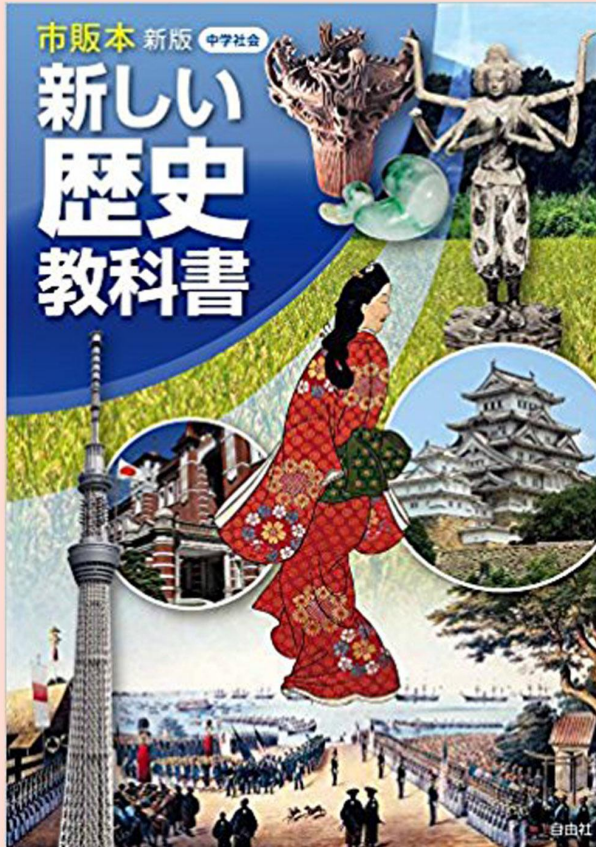
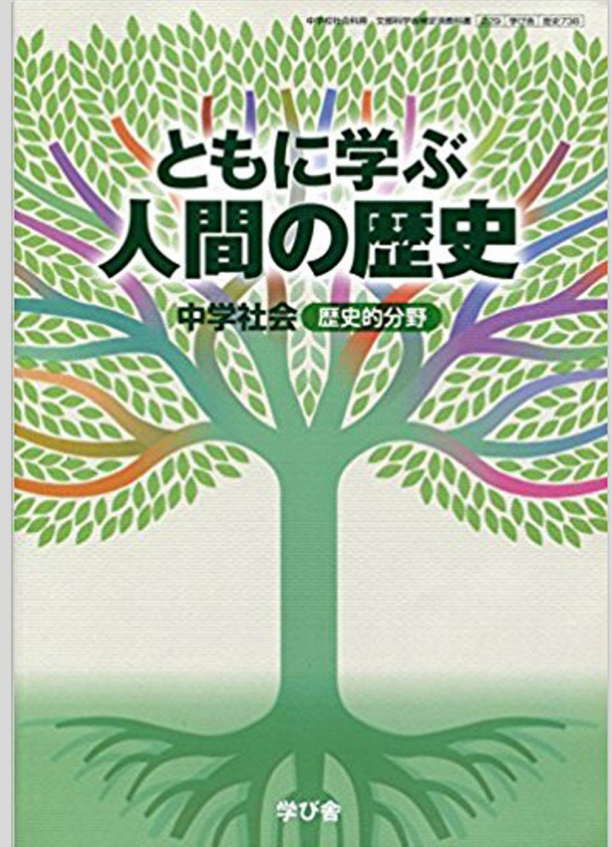


新しい歴史教科書をつくる会・神奈川県支部

自由社と学び舎の 教科書読み比べ



- 神話の記述あり
- 天皇は神武天皇から記述
- 元寇記述
- ファシズム、共産主義の脅威(プリントP19)
- 中国の排日運動記述あり
- 通州事件記述あり
- A B C D 包囲網記述あり
- ハルノート記述あり
- 敗戦後のアジアの独立記述
- W G I P 記述(プリントP30)
- 日本敗戦後の中国のチベット・ウイグル侵略記述



- 神話の記述なし
- 神武天皇記述なし
- 元寇の記述なし
- マルクス・社会主義賛美(プリントP12)
- ベルサイユ条約・5大国記述なし
- パリ講和条約・日本の人種平等案記述なし
- アメリカの排日政策記述なし
- 中国の排日運動記述なし
- 鉄道爆破から始まる十五年戦争史観記述
- 通州事件記述なし
- 三光作戦を「焼き尽くす、奪い尽くす、殺し尽くす」作戦と記述(プリントP22)
- 在日朝鮮人の強制連行説(プリントP26)
- 琉球及びアイヌとの対立強調(プリントP13)
- 関東大震災・朝鮮人虐殺(プリントP17)

比較項目	自 由 社	学 び 舎
弥生時代 稲作の 始まり	日本列島には、既に縄文時代に大陸からイネがもたらされ、九州の菜畑遺跡では紀元前 500 年頃に、灌漑用の水路を伴う水田稲作が行なわれていた跡が見つかっている。更に、青銅器や鉄器などの金属器も大陸から伝わり、後には国内でも生産された。 P 3 8	稲作の技術や種もみ、道具を持った人達が、朝鮮から海を渡って来ました。この人達は九州北部に住み着いてムラを作り、その後稲作は全国に広まっていきました。 P 2 8
邪馬台国 と卑弥呼 華夷秩序 と倭国	中国には自国が唯一の文明国で、周辺諸国を蛮夷（野蛮人）とする中華思想があった。<u>邪馬台国</u>や<u>卑弥呼</u>といった卑しい漢字で表記していたことも、それを表している。 皇帝は朝貢してくる蛮夷の支配者を臣下として「王」の称号を与え、王に封じられた国は朝貢国となった。これを「冊封体制」という。 600 年後になって国内が安定すると、日本は大陸文化吸収の為、朝貢はしても冊封されない国となった。 P 4 1	卑弥呼は貢ぎ物として、男女の奴隷 10 人と布を差し出した。魏の皇帝は立派な絹織物や衣服などと銅鏡 100 枚を与え、「倭人たちをよく治め、皇帝に尽くせ」と伝えました。卑弥呼を倭国の王として正式に認めたのです。その後、「親魏倭王」の金印が卑弥呼に授けられました。 P 3 5
大和朝廷 と古墳	前方後円墳は大和朝廷の古墳の形式であり、南は鹿児島、北は岩手県にわたる国内各地に約 5,200 基も存在した。これらは大和朝廷の勢力の広がりを反映したものと考えられる。 豪族達の連合の上に立つのは大王（後の天皇）で、その古墳はひときわ巨大だった。 仁徳天皇陵（大仙古墳）は世界でも最大規模の王の墓である。 P 4 2	5 世紀には奈良や大阪府にひときわ巨大な前方後円墳が何基も作られました。この事が、大王が中心にまとまった事を示しています。これを<u>大和政権</u>と呼びます。大和の周辺に須恵器や鉄製品を作る渡来人のムラが出来・・・ *渡来人：朝鮮半島や中国から集団で移り住んだ人々。土器や鉄を作り、機織りの技術、漢字を書く文化を伝えた。大和政権の豪族となった一族も多い。 *大仙古墳と銘打った仁徳天皇陵の写真のみある。 P 3 7
神 話	日本の国の成り立ちは、8 世紀に完成した日本で最も古い歴史書である「古事記」「日本書紀」に神話の形で書かれている。イザナギ、イザナミとアマテラスオオミカミの誕生。オオクニヌシの命と出雲神話、天孫降臨と神武天皇の東征。争いを避け、	後出記紀編纂の箇所 to 若干の記載あり。

	オオクニヌシがアマテラスに豊かな国土を渡した 「国譲り」の神話には、統治の移譲が争いでは無く て話し合いによって決着している事を表している。 *2月11日の建国記念の日は神武天皇が即位したと されている、旧暦の紀元前 660 年元旦である。 *日本サッカー協会のシンボルマーク、八咫鳥は、 神武天皇を東征の時に導いた、3 本脚の伝説の鳥。 P 4 4 ～ 4 5	
高句麗の 広開土王の 碑文	高句麗の広開土王の碑文に、倭の軍勢が海を渡り、 百済、新羅を「臣民」としたので、高句麗王がこれ を撃退すべく兵を送ったと記されている。大和朝廷 は敗れ、404 年に朝鮮半島から兵を引いた。 P 4 8	記載なし
仏教伝来	6 世紀の前半、当時の百済は、高句麗、新羅に攻め 込まれて存亡の危機にあった。百済は再三に亘り日 本に軍事援助を求めた。百済の聖明王は日本との同 盟を強固なものにする決め手として、552 年に金銅 の仏像と経典を大和朝廷に献上した。(仏教伝来) 東アジアの混乱を逃れて、多くの難民が一族や集団 で日本に移り住み、金属器の加工、土木建築などの 技術や漢字による朝廷の文書の作成にも力を発揮し た。 P 5 0 ～ 5 1	仏教は 6 世紀の前半に朝鮮半島の百済（ペク チュ）から伝えられました。 倭国で最初の仏教の指導者は女性で、3 人の少 女が高句麗（コグリョ）から渡来した僧に学 び、さらに百済（ペクチュ）に留学し、帰国 してから仏教の教えを人々に広めました。 P 3 8
聖徳太子	6 世紀の末、589 年、隋が中国全土を約 300 年ぶり に統一し、百済、高句麗、新羅は隋に冊封され、日 本もこれに如何に対処するか、態度を迫られた。こ の頃皇族の一人で若くして聡明な聖徳太子（厩戸皇 子）が、初めての女帝である推古天皇の摂政となり、 冠位十二階と十七条憲法を制定し、日本の国として の基礎を形作った。 十七条憲法には、現代に続く日本人の基本的な考え 方が書かれている。 1. 和を貴び、争い事をしないように 2. 篤く三宝（仏、法、僧）を敬え	厩戸皇子（うまやどのおうじ、後に聖徳太子 と呼ばれる）は、高句麗（コグリョ）から渡 来した僧から熱心に仏教を学んで、ブツダの 教えを書いた経典を読み解き、人々にそれを 伝えました。 *十七条憲法は、初めの 3 条のみ記載 P 3 8 ～ 3 9

	3. 天皇の詔を受けたら、必ず謹んでこれに従え。承詔必謹 4. 悪を懲らしめ、善を勧めよ 5. 人は各自の任務を果たせ 6. 全ての事に嘘偽の無い、真心を持って当たれ 7. 功績には賞を、罪には罰を正しく与えよ 8. 他人に嫉妬の心を持つな 9. 私心を捨てて公の立場に立て 10. 大切な事は独りで決めずに皆とよく議論をして決めよ * 上記はその一部であるが、全文が記載されている。 P 52～53	
遣隋使と 天皇号の 始まり	聖徳太子が隋の皇帝に宛た国書には「日出る処の天子、日没する処の天子に書をいたす。恙なきや。」と書かれていた。太子は手紙の文面で対等の立場を強調する事によって、隋には決して服属しないという決意を表明した。 3 回目の遣隋使を派遣する時に、国書に記す称号をどうするかが問題になった。そこで天子の「天」に皇帝の「皇」を付けて「天皇」とし、相手は「皇帝」とし、隋の立場に配慮しつつも、両国が対等である事を表明した。これが天皇という称号の始まりであり、その後途切れることなく今日にまで至っている。 P 54～55	天皇号についての記載なし (誰が出したかの主語なし)「日出づる処の天子・・・」を見た皇帝は「蛮夷の書は無礼である。もう取り次ぐな」と命じました。 この頃、中国を中心とする東アジアでは、天子はこの地に一人しか居ないのが常識でした。 * 全て支那の目から見ているような記載に終始。 * 尚、天皇の称号は天武天皇以降との記載あり。 P 39
大化の 改新	645 年、中大兄皇子は中臣鎌足（後の藤原鎌足）らと共に蘇我蝦夷、入鹿親子を倒して蘇我氏を滅ぼし、新しい政治の仕組みを作る改革を始めた。朝廷は日本で最初の年号を立てて、大化元年とした。東アジアで中国が定めたものとは異なる独自の年号を制定して使い続けたのは、日本だけであった。 翌年には、これまで皇族や豪族が私有していた土地と民を国家が直接統治する公地公民の方針を打ち出した。	645 年、飛鳥の宮殿では朝鮮 3 国からの使者を迎える儀式が行われました。その最中に中大兄皇子達が蘇我入鹿を殺害する事件が起きました。 事件の翌年、大化の改新と呼ばれる政治改革の方針を示しましたが、すぐに実行するには至りませんでした。 P 39

	大化元年から始まるこの改革を「大化の改新」と呼ぶ。 P 5 6 ~ 5 7	
白村江の戦いと国防の備え (自由社) 白村江の敗戦 (学び舎)	百済を復興する為の救援要請を受けた朝廷は、多くの兵と物資を送った。唐、新羅の連合軍との決戦は、663年、半島南西部の白村江（はくすきのえ）で行われ、2日間の壮烈な戦いの後、日本、百済側の敗北で終わった。《白村江（はくすきのえ）の戦い》 百済からは王族や貴族をはじめ、一般の人までが日本に亡命して来た。そのうち一部は近江、一部は東国に定住した。朝廷は彼らを篤くもてなし、政治制度の運営についての知識を得た。 唐と新羅の襲来を恐れた日本は九州に防人を置き、水城を築いて国を挙げての防衛に努めた。 中大兄皇子は都を飛鳥から近江に移し、即位して天智天皇となった。 P 5 8	大和政権は文化や技術を取り入れるなど、百済（ペクチェ）と親しい関係にあったので、大量の船を集めて救援の軍を送りました。 唐の水軍は組織的に動いて戦いましたが、倭軍は各地の豪族の指揮下にそれぞれ集められた人々が兵士となっていた為に、全体で作戦を立てて戦う事が出来ずに敗れました。 白村江（ペクチョンガン）で敗北した倭国は、九州から瀬戸内海に多くの山城を築き備えしました。水城や山城の工事は、渡来してきた百済（ペクチェ）の人々が、朝鮮の土木技術を使って進めました。 大和政権は、宮殿を飛鳥から近江の天津に移し、ここで中大兄皇子が大王（おおきみ）の位に付きました。（後の天智天皇） P 4 0 ~ 4 1
天武天皇と持統天皇の政治	天智天皇が亡くなった後、672年、天皇の子の大友皇子と天皇の弟の大海人皇子との間で、皇位継承をめぐって内乱が起こった。これを壬申の乱という。 この争いの中で豪族達は分裂し、政治への発言力を弱めた。こうして天皇を中心に国全体の発展を図る体制が作られていった。 内乱に勝利した大海人皇子は、天武天皇として即位した。天武天皇は、中国の律令制度を参考にして国家の法律を更に整備し、国の歴史書「古事記」「日本書紀」の編纂に着手した。 天武天皇の没後、皇后の持統天皇が即位し、都として奈良の地に藤原京を建設した。 日本という国号が用いられるようになったのは、この頃からである。 P 5 9	新羅（シルラ）は百済（ペクチェ）を滅ぼしたのち、唐と結んで高句麗（コグリョ）も滅ぼしました。その後、唐の力も排除して、朝鮮半島全体に勢力を広げました。計画的に拡大された金城（クムソン）では市も賑わいました。 倭国では天智の死後、（天皇と書かず、天智と呼び捨て）その子の大友皇子と弟の大海人皇子が大王の地位をめぐって争いました。 （壬申の乱）内乱に勝利した大海人皇子は673年に即位して天武天皇となりました。その後を継いだ持統天皇は、本格的な都として藤原京を作りました。 P 4 1

「日本」という国名の起り	「日本」は、「日」と「本」という二つの言葉（文字）から成り立っている。「本」は「～の元」という事である。607 年の遣隋使の国書に「日出る処」と書かれていたように、「昇る太陽の出て来るところの国」という意味になる。「日本」という国名が出来る前は、「倭」、「倭国」などと呼ばれていたが、「倭」は「人に従う有様」「醜い」などの意味を持った漢字である。 聖徳太子の新政では、それまでの中国王朝の服属国のような立場を改め、「天皇」という称号を使い、「日本」と称する事で中国に対して自主、対等の姿勢を示した。これが「日本」という国名への変更に至る出発点だった。 もっと知りたい（自由社コラム） P 6 0～6 1	倭国は中国から見て東方にあり、東を表す言葉が「日出る処」なので「日本」とされた。 P 4 1
大宝律令と平城京	701 年（大宝元年）大宝律令が作られた。律は刑罰を定めた法律で、令は政治のしくみと手続きを定めた法律である。律令に基づいて政治を行う国家を律令国家と呼ぶ。710 年（和同 3 年）、律令国家の新しい都として奈良に平城京が作られた。 唐の都、長安を手本にしたが、長安にある防備の為の強固な城壁は無く、日本の平和な国情をよく表している。 P 6 2	日本も唐や新羅（シルラ）と同じように律令により国を治める事になり、710 年に奈良の平城京に都を移しました。 新羅（シルラ）は 7 世紀後半から 8 世紀にかけて、しばしば使者を来日させました。渤海（ぼっかい）は高句麗（コグリョ）に代わって建国され、727 年から使者を来日させて毛皮など北の産物の交易を行ないました。平城京からも新羅（シルラ）、渤海に使者が送られました。 この頃朝廷は東北地方の人々を蝦夷（えみし）と呼んでいました。蝦夷は朝廷が東北地方に支配を及ぼす事に抵抗を続けました。 P 4 2～4 3
記紀の編纂と大仏造立（ぞうりゅう）	天武天皇は、律令国家の仕組みが整うのに合わせて、国の起りや歴史をまとめる事を命じた。その編纂事業は次代の天皇に引き継がれ、712 年に「古事記」全 3 巻が完成した。次いで 720 年に「日本書紀」30 巻が完成し、中国の王朝にならった国家の正史として、歴代	聖武天皇は国土の平安を祈って、各地に国分寺と国分尼寺を、奈良の東大寺に大仏を作る事にしました。開眼の儀式には国内から 1 万人の僧や尼が集まり、唐やインドの僧も参加し、一時関係が悪化していた新羅（シル

	天皇の系譜とその業績が詳細に記述された。 聖武天皇と光明皇后は、国ごとに国分寺と国分尼寺を置き、都には全国の国分寺の中心的な総国分寺として東大寺を建て、大仏造立を命じた。大仏開眼の儀式には、インドの高僧も加わって、盛大に行われた。高さ15mの東大寺の大仏は、世界最大の金銅仏（こんどうぶつ）である。 P 6 4 ~ 6 5	ラ）からも 700 人にのぼる大使節団がやって来ました。 朝廷は仏教だけでなく、日本の歴史や神話の編纂も重視し、天武天皇の命令によって中国にならった歴史書として「日本書紀」、神話の記録として「古事記」が完成しました。太陽の女神とされる天照大神が天から地上に神々を遣わし、その子孫が国を平定して最初の天皇になったという神話は、そこに記録されたものです。 P 4 6 ~ 4 7
万葉集	万葉集には古代から奈良時代までの 4500 首余の和歌が、身分の隔てなく採録されている。天皇、貴族から、名もなき農民、防人まで多彩で、詩歌集に女性や庶民の作品まで採られているのは世界でも例がない。 P 6 7	奈良時代には、唐や新羅（シルラ）に対する防衛の為に、約 3000 人の兵士が防人として 3 年交代で動員されました。集合地点の難波津（大阪府）迄の食料と武器は自分で調達します。 長い間故郷から離れ、家族と別れる悲しみを防人は歌に残しています。この時代に編集された万葉集には、数多くの防人の歌が収められています。 P 4 4
もっと知りたい（自由社コラム） 仮名文字と女流文学 漢字は激しく大仰な表現には適するが、日本人らしい微妙な表現には適さない。例えば、「悲しい」は漢字で表現出来るが、「うら悲しい」「もの悲しい」の微妙な表現は出来ない。日本人が 1000 年程前に発明した仮名文字は、私達の感性の細やかさを表現できる表音文字なのだ。仮名文字の発明によって、日本人の文章表現は飛躍的に豊かになった。 P 7 4 ~ 7 5		
もっと知りたい（自由社コラム） 日本の天皇と中国の皇帝 中国の皇帝は「天」の命令によってその地位を授けられ、皇帝の徳が衰えた時に「天命」は他の者に移るとされていた。この考え方は、前王朝を滅ぼし、征服した者にとって都合の良いものだった。「前皇帝は悪政を重ねて徳が衰えた為天命が改まり、自分が新しい王朝を建てたのだ」と言えば、武力によって皇位を奪う事が正当化されるからだ。身分の低い者であろうが異民族であろうが、皇帝になれるとするのが、易姓革命の思想である。 歴史年表で「元、明、清」などとあるのは、日本の「平安、鎌倉、室町」などの時代区分とは全く違う。日本は日本のままだが、中国では革命によって、全く別の国が興ったことを意味している。 P 7 8		

鎌倉政府 の成立	1192 年（建久 3 年）源頼朝は朝廷から征夷大將軍に任命された。 P 8 4	頼朝は朝廷に対する力を強め、1192 年に征夷大將軍に任命されました。 P 6 4
（自由社） 元の襲来 （元寇） （学び舎） 元の襲来、 元寇の 表記なし	フビライは東アジアへの支配を拡大し、独立を保っていた日本征服を企て、度々日本に使いを送って服属を求めた。しかし、朝廷と幕府は一致してこれを撥ね付け、元の来襲に備えた。 元、高麗連合軍は 1274 年（文永 11 年）に対馬、壱岐を経て博多に襲来した。（文永の役）更に 7 年後の 1281 年、（弘安 4 年）には大船団を仕立てて日本を襲った。（弘安の役）日本側は略奪と残虐な被害を受けたが、鎌倉武士はこれを国難と受け止め、果敢に戦った。 元軍は後に「神風」と呼ばれた暴風雨にも襲われ、敗退した。 こうして日本は独立を保つ事が出来た。 P 8 8～8 9	元のクビライ・カンは、高麗（コリョ）を支配下に置いた後、日本に通交を求めました。朝廷、幕府からの返事が無かった事もあって、1274 年、元はおよそ 3 万の兵力で対馬、壱岐を襲い、九州博多湾に攻め入った後、引き揚げました。 1281 年、再び日本を侵略しようと、およそ 15 万の兵力を送りました。 幕府は御家人、その他の武士も動員して、警備に当たらせ、博多湾一带には防塁を築いた為、元軍は上陸出来ませんでした。更に、暴風雨によって、たくさんの船が沈み、元軍は引き揚げました。 *武士の活躍には触れていない。 P 7 3
もっと知りたい（自由社コラム）元寇と朝鮮半島 1274 年、3 万人余りの元軍が対馬に現れた時、宋 助国はじめ対馬の武士は奮戦した後、全員討ち死にした。元軍は民家に火をかけ、老人、女性、子供の区別無く、残忍な仕方で殺害したり、捕虜として連れ去った。元軍が博多湾に侵入して来ると、日本の武士は命を惜しまず勇敢に戦い、撤退させた。 朝鮮半島と元の軍勢が 2 度目に 14 万人の大軍で襲来した時には、武器の他に農具や生活用品まで積み込んでやって来ました。九州の一部を占領し、そこに定住するつもりだったのだ。この元の大船団に対し、武士たちは全力を挙げて戦いを挑み、国を守った。 後の明治時代に「朝鮮半島がロシアの勢力圏に入ると、日本の安全が脅かされる」という警戒心を抱いたのは、朝鮮半島から大軍が襲来した元寇の恐怖の体験から来たものであろう。 P 9 0		
倭 寇	倭寇とは、対馬、壱岐や松浦地方を根拠地とする武装貿易船団で、日本人の他、朝鮮人が多数含まれていた。 *朝鮮側の史料には、「朝鮮の民が日本人の服を着て徒党を組み、乱暴を働く者が多く、倭寇のうち、日本人は 10～20%に過ぎない」と書かれている。	1380 年 9 月、倭寇が錦江（くむがん）上流の山城を攻めました。阿只拔都（アキバツ）という勇敢な青年を高麗（コリョ）の武将李成桂（イソンゲ）の強い弓が倒しました。 李成桂（イソンゲ）は倭寇の制圧に功績をあげ、1392 年朝鮮（チョソン）王朝を開きました。李成桂（イソンゲ）は倭寇の根拠地対馬を攻め、降参して

	当時の室町幕府の将軍 足利義満は、倭寇を取り締まる事を条件に明との貿易を始めた。合札の証明書を使ったので、勘合貿易と呼ばれる。 P 9 6	従った倭寇には土地や官職を与えて、略奪を止めさせました。 日本では3代将軍足利義満が九州をまとめ、明の皇帝に使いを送り、倭寇を押さえる事を約束して、日本国王に任命されました。 *注 別ページ (P93) に 「九州沿岸を拠点とする。 日本人も加わっていたので、倭寇と呼ばれました。」との記載あり。 P 7 6 ~ 7 7
(学び舎) 朝鮮の文字ハングルが作られる 15世紀半ば、朝鮮では独自の文字を作る努力が重ねられました。国王の世宗 (セジョン) は、「訓民正音 (クンミンジョンウム)」をまとめさせ、民衆の間に広まっていきました。 17世紀には、ハングルで書かれた最初の小説 洪吉童伝 (ホンギルトンデン) も生まれました。 P 7 7		
(学び舎) アジアの海をつなぐ王国琉球王国 琉球王国は明の皇帝に毎年のように朝貢しました。 琉球の船は、中国の陶磁器や絹織物をシャム (タイ) やマラッカなど、東南アジア各地に売り捌き、帰りには香辛料や象牙など、南方の産物を持ち帰りました。 P 8 4		
もっと知りたい (自由社コラム) 一揆と合議の伝統 室町時代から戦国時代に発生する一揆とは、「揆を一 (いつ) にする=気持ちを一つにする」という意味で、人々が共通の目的の為に寄合を持ち、立場の違いを越えて平等な資格で一致団結する事を表す言葉である。一揆にはこのように、メンバー全員が徹底的に議論をして物事を決める「合議」の精神が含まれている。 P 1 0 6		
朝鮮出兵 (自由社) 秀吉の朝鮮侵略 (学び舎)	2度に亘る戦いによって、朝鮮の国土や人々の生活は荒廃した。 又、この出兵に莫大な費用と兵力を費やした為に、豊臣家の支配は揺らいだ。 P 1 1 9	この戦争に医師として従軍した日本の僧、慶念は、戦場で見聞きした事を日記に「人買い上人が日本の軍勢の後に付いて、朝鮮の老若男女を買い集め、首を縄でつないで引き連れている。」と書き残している。 戦場となった朝鮮では、田畑が荒れ果て、多くの人が飢えに苦しみ、日本では多くの百姓が輸送などに駆り出され、農業生産が落ち込む所もありました。 日本軍の半数以上は九州などの農民でした。 *朝鮮水軍を指揮して日本軍に打撃を与えたと言われる、緒戦水軍の李舜臣 (イスンシン) 像の写真あり。

		*更に、加藤清正の家臣の武将が朝鮮側に降伏して日本軍と戦い、朝鮮国王から金忠善（キムチュンソン）という名前を与えられた話が載っている。 P 1 0 4 ~ 1 0 5
外の目から見た日本（自由社コラム） 宣教師が見た日本 16 世紀、日本にやって来たキリスト教の宣教師達は、極東の島に思いがけず文明化した誇り高い民族を発見して驚いた。 神父ザビエルは「日本人は、私が遭遇した国民の中では傑出している。異教徒の中で日本人に勝るものはあるまい。彼らは総体的に良い素質を有し、悪意が無く、すこぶる感じが良い。日本人は総じて貧乏であるが、武士であろうと平民であろうと、貧乏を恥辱と思っている者はいない。」と書いている。 又、布教長トルレスは日本人の暮らしが自給自足していて豊かであると言い、「この国の豊かさは、スペイン、フランス、イタリアを凌いでいる。キリスト教国にある一切の物がこの国にある。彼らの長所を数えてゆけば、紙とインクの方が先に尽きてしまうと書いており、更にオルガチーノ神父は「全世界にこれほど天賦の才能を持つ国民はいないと思われる。」と書いている。 P 1 2 0		
もっと知りたい（自由社コラム） 秀吉はなぜバテレンを追放したか 1596 年（慶長元年）土佐沖で難破したスペイン船サン・フェリーペ号の航海長が奉行に対して、「我々は先ず宣教師を送り込んで先住民を改宗させ、続いて軍隊が入って多くの国を征服して来た。」と、脅したという風説が広まった。これを聞いた秀吉が、キリシタンの取り締まりを強化した。 P 1 2 1		
江戸幕府 の 成 立 (1603 年)	1603 年(慶長 8 年)徳川家康は朝廷から征夷大將軍に任命され、江戸幕府を開いた。 P 1 2 4	1603 年（慶長 8 年）徳川家康は征夷大將軍となり、江戸に幕府を開きました。 *誰から任命されたかが書かれていない。 P 1 0 6
身分制度	江戸幕府は秀吉の刀狩の方針を受け継ぎ、武士、百姓、町人を区別する身分制度を定める事によって、争いの無い穏やかな社会秩序を基礎に、平和で安定した社会を作り出した。 武士、百姓、町人を分ける身分制度は必ずしも厳格に固定されていた訳では無く、武士が百姓や町人になり、町人が武家の養子になる事もあった。 P 1 3 0	江戸時代の人々は、身分に応じた役（負担）を果たし、集団に属して生活し、上下の秩序が重んじられました。 支配身分の武士は武力を独占して、政治、行政を行ない、苗字帯刀の特権を持っていました。その他、「かわた（長吏、ちようり）」、「えた」と呼ばれた身分の人々は、革の加工や死んだ牛馬の処理を役としました。「ひにん」は村や町の清掃などの役を負担し、住む場所や服装などで他の身分と区別され、一段低く見られていました。 P 1 1 7

百姓一揆 村と百姓 (自由社) 地鳴り、 山鳴り、 のぼり立 て (学び舎)	百姓は年貢を納める事を当然の公的な義務と 考えていたが、不当に重い年貢を課せられると 結束して軽減を訴えた。これを百姓一揆とい う。 一揆は暴動の形をとる事は減多になく、殆どが 領主との団体交渉だった。大名は、出来るだけ 要求を受け入れて、穏やかに事を収めようと した。 P 1 3 0 ~ 1 3 1	江戸時代を通じて約 3700 件の百姓一揆が起こつて います。 1840 年、庄内藩で一揆が起こり、庄内の百姓達は各 地で何万人もの大集会を開きました。 竹槍や刀などの武器は持たず、蓑や笠を身に着け、 手には鎌や棒を持つという出で立ちでした。 このような一揆は次第に村ぐるみ、藩全体、領地を 越えた大規模な一揆になって行きました。一揆の指 導者は死刑、さらし首など、厳しく処罰されました ので、死を覚悟して行動を起こしました。 庄内藩の領地かえ反対一揆の他、長州藩、全域に広 がった専売一揆など、百姓が要求を勝ち取る一揆が 増えていきます。 P 1 3 0 ~ 1 3 1
(学び舎) 戦うアイヌの人々 昆布は琉球から中国へ 蝦夷地に進出していた松前氏は、江戸幕府から松前藩の大名として認められ、アイヌとの交易を独占して行う権限を与えられました。しかし、松前藩は交易の際、俵を小さくして米の量を大幅に減らすなどして、アイヌに不利な交易を強制しました。苦しい状況に追いやられたアイヌの首長シャクシャインらにより、1669 年に 2000 人のアイヌが商船を襲うなどして戦いが蝦夷地南部から東部に広がりました。その結果、松前藩は和平の交渉を持ちかけましたが、その交渉の場でシャクシャインを騙し討ちして殺害しました。 一方、薩摩藩の島津氏は奄美大島などを直接支配し、琉球王国も服属させました。しかし、琉球王国が朝貢使節を中国に派遣して交易する事は続けさせ、その交易の利益を吸い上げました。 P 1 2 2 ~ 1 2 3		
もっと知りたい (自由社コラム) 武士と忠義の観念 主君の無念を晴らす為に命を捨てた赤穂浪士の行動は、豊かさと安逸にふける元禄時代の人々に衝撃を与えた。忠義とは、自己の属する共同体を守る為に「私」を越えて「公」の為に最善を尽くす事を意味している。幕末に日本が外国の圧力にさらされた時、武士の忠義の観念は藩の枠を越えて、国家全体の為に発揮された。 P 1 3 4		
人物クローズアップ (自由社コラム) 二宮尊徳と勤勉の精神 二宮尊徳 (幼名 金次郎) は現在の小田原の農家に生まれた。父が病死した為、14 歳で家督を継ぎ、山で芝刈りなどをして働きながら学問を続けた。成長し、農業指導者、経営者となった金次郎は二宮家を再建し、小田原藩家老 服部家の財政も 5 年で回復させた。 戦前、政府は、勤勉、節約、忍耐の精神を広める為に、全国の小学校に金次郎の銅像を建てた。 P 1 3 5		

教育・文化 の普及	江戸時代になると庶民の子も読み書きを学び、後期には江戸の識字率は 50～60%と、世界最高レベルまでになった。 江戸時代の庶民の教育の場は寺子屋だった。寺子屋は全国で 15000 軒以上あった。武士の子供はそれぞれの藩校で学んだ。 本居宣長は「古事記」など日本の古典の研究を行ない、皇室の家族が絶えることなく続いている事（万世一系）が、日本が他国より優れている理由であると説き、国学の礎を築いた。 P 1 3 8 ～ 1 3 9	本居宣長は「古事記」などの古典を研究し、「古事記伝」を著しました。宣長の教えを学んだ平田篤胤は神道を唱え、天皇の権威を尊ぶ「尊王」を説きました。この考えは外国人を排除する考え（攘夷）と結びつき、幕末の尊王攘夷運動に影響を与えました。 P 1 3 3
人物クローズアップ（自由社コラム） 正確な日本地図を作った伊能忠敬 50 歳の時、忠敬は家督を息子に譲って江戸に出、幕府のお抱え天文学者 高橋至時（よしとき）の門を叩き、天文学や暦学の基礎を身に付けた。当時日本の近海には英、米、露などの艦船が出没しており、特にロシアは樺太、千島、蝦夷地に頻繁に姿を現していた。1800 年（寛政 2 年）幕府から蝦夷地の測量を命じられた忠敬は、日本の国土の形と位置を初めて明らかにした測量図を作った。忠敬が算出した数値は、後に幕府が入手した、フランスの天文学者ジェローム・ランドの書いた「天文学」にある数値と全く同じだった。その後、忠敬は全国を測量して回り、日本全図を作成した。伊能図は、和算の水準の高さ、科学を極めようとする実証精神、困難にめげない不屈の魂の記念碑である。 P 1 4 0 ～ 1 4 1		
もっと知りたい（自由社コラム） エコロジー都市 江戸 家康は 1590 年（天正 18 年）から、井の頭池を水源とする水道敷設を命じ、これが後に神田上水と呼ばれた。多摩川から引いた玉川上水と合わせると、主要な上水と道だけで 150 k m になった。イギリス、ロンドンが江戸より 30 年遅れて 30 k m の上水道が出来た。パリ市民は 19 世紀迄、濁ったセーヌ川から汲み上げた水を買って生活水としていた。 江戸市中のゴミは定期的に集められて船で運ばれ、江戸湾の埋め立てに使われた。古い帳簿などの紙クズ、壊れた鍋、包丁、傘、針、茶碗に至るまで回収、修理して再利用した。 P 1 4 7		
もっと知りたい（自由社コラム） 浮世絵とジャポニズムー世界で花開いた江戸の文化 1878 年（明治 11 年）にパリ万国博覧会が開かれ、そこで日本の浮世絵が紹介されると空前の日本ブームが巻き起こった。印象派の画家達は浮世絵の明るい色彩、大胆な構図や線描に魅了され、熱心に模写をした。 このように日本の芸術が西洋に与えた影響を、ジャポニズムと言う。ジャポニズムはその後、ポスターやガラス工芸など、西洋美術の多様な分野に及んだ。 P 1 5 0		

(学び舎) バスチューを攻撃せよ フランス革命

1789 年、パリの民衆がバスチュー監獄に押し寄せました。人々はなだれ込み、激しい銃撃戦の末、バスチューを攻め落としました。1792 年には民衆が王宮を攻撃し、王政を廃止させました。

P 1 4 8 ~ 1 4 9

(学び舎) 工場で働く子供達 産業革命

10 歳のメアリのエプロンが回転する機械に挟まれ、体ごと巻き込まれたのです。片足を失った女の子に、工場主は見舞金さえ払いませんでした。1847 年には、イギリスの綿工場の労働者の 70%以上が女性や 18 歳以下の子供でした。

1832 年、マンチェスター近くの町で開かれた集会には大勢の労働者が集まり、工場で働く子供達も参加しました。そして、労働者達は労働時間を短くし、賃金を引き上げる事などを求める為に労働組合を作りました。こうして社会主義の考え方が生まれました。土地や工場を社会の共有にして、平等な社会を実現しようとするものです。マルクスは貧富の差を生み出す資本主義の仕組みを分析し、エンゲルスの協力の元に「資本論」を著しました。

P 1 5 0 ~ 1 5 1

ペリーは日本人をどう見たか (自由社コラム) ペリー来航 1853 年 (嘉永 6 年)

読み書きが普及しており、見聞を得る事に熱心である。日本人がひとたび文明世界の過去、現在の技術を有したならば、機械工業の成功を目指す強力なライバルとなるであろう。(ペリーの「日本遠征記」より)

P 1 5 9

(学び舎) 打ち寄せる世直しの波 幕末の民衆

開港の後、物価は上がり続け、人々の不平不満が重なって、世直しを求める一揆が各地で起こりました。1866 年は江戸時代で一揆と打ち壊しが最も多い年となりました。

江戸で打ち壊しが起こった時、町奉行所の門前に「御成事売切申候 (ごせいじうりきれもうしそうろう)」と書いた紙が貼られました。長州藩との戦いに敗れて、幕府の権威は衰え、各地で世直し一揆が広がっていました。

三重県北部の農民達は、「御一新後に作られた物は残らず打ち壊せ」と竹槍をふるい、役場、刑務所、郵便局、学校など 2300 以上の建物を打ち壊しました。一揆は愛知県、岐阜県に広がり、地租改正に反対し、30 万人以上が参加する大一揆となりました。巡査隊や軍隊が出動してこれを押さえ、死刑 1 名を含む 5 万人以上を処罰しました。

P 1 6 4 ~ 1 6 5

もっと知りたい (自由社コラム) 明治維新とは何か

ペリーが来航し、開国を要求してから僅か 15 年後に江戸幕府は倒れ、明治政府が成立した。李朝 (李氏朝鮮) が倒れたのは、欧米列強が押し寄せてから 44 年後、清朝は 72 年後だった。

我が国が新しい時代に対応する政治体制への切り替えを比較的早く成し遂げられたのは何故だろう。

我が国においては権威と権力は独占されるものではなく、権威は天皇に、権力は幕府に帰属するものとされていた。このように日本には 2 つの中心が有った為、列強の圧力が高まって幕府の権力が衰えても、天皇を日本統合の中心とする事で、政権の移動が短期間でスムーズに行われたのだ。

明治維新はフランス革命のように市民が暴力で貴族の権力を打倒した革命では無い。武士の身分を廃止したのは、

他ならぬ武士の身分の人々によって構成された明治新政府であり、明治維新は公の為に働く事を自己の使命と考えていた武士達によって実現した、世界に例を見ない改革だったのだ。

そして、明治維新の改革に於いて新しい国造りの基礎とされたのは教育だった。教育が日本の近代化を成功させる基となったのである。

P 1 7 0 ~ 1 7 1

もっと知りたい（自由社コラム）琉球処分とは何か

奄美や沖縄を中心として南島地域の人々の主な祖先は縄文時代に九州から渡って行った人々であり、その地域の言語は琉球方言と呼ばれ、日本語の方言の一つである。琉球は薩摩と清国に両属し、人々には薩摩への毎年の貢納の他、清国から迎える使節の接待の費用も大きな負担だった。薩摩と清国に両属する状態を終わらせたのが 1879 年（明治 5 年）の琉球処分である。沖縄学の父と言われる伊波普猷（いはそゆう）は、「琉球処分は一種の奴隷解放だ」と表現している。

P 1 7 4

もっと知りたい（自由社コラム）日本の近代化とアイヌ

蝦夷地（北海道）では、本土が農耕社会に変わってからも狩猟採集の社会を維持していた。明治政府は本土から屯田兵を入植させ、北海道の開拓に努め、アイヌに対しても農業指導を行って農耕民となる事を勧めると共に、死者が出た時に家を焼き払う慣習を禁止した。又、文明開化の観点から、男性の耳環と女性の入れ墨を禁止した。更に、アイヌの子弟に文字を教える為に学校を設立し、親に金銭を与えて子供を学校に行かせるように指導した。

P 1 7 5

（学び舎） 北・南を組み込み、国境を引く

《北で蝦夷地が日本に組み込まれる》

政府が北海道への移民を奨励したので多くの人々が本州から渡って来て開拓を進めました。他方で、アイヌの儀式や風習などを禁じ、日本風の生活に変えようとしてしました。

《南で沖縄県が設置される》

江戸時代まで、現在の沖縄県には琉球王国が有りました。琉球王国は薩摩藩に服属しながら中国に朝貢していました。新政府は 1872 年に琉球王国を琉球藩に改めると言い渡し、日本に組み込もうとしました。琉球側はこれに抵抗しましたが、1879 年、政府は警察官、兵隊と役人を派遣して沖縄県を設置し、琉球王国は滅びました。

P 1 8 8

外国人の眼から見た日本（自由社コラム）幕末、明治期の日本人の生き方

幕末から明治初めにかけて横浜で英字新聞を発行していたイギリス人 ジョン・ブラックは、日本人の礼儀正しさについて「一民族として、日本人は皆柔和で礼儀正しく、かなりの独立心を持っている。外国人は殆ど例外なく歓待され、「おはよう」という気持ちの良い挨拶を受けた。」と書いている。

1878 年（明治 11 年）日本の隅々迄旅行したイギリス旅行作家イザベラ・バードも、雇った馬子の親切さを記録しています。

1877 年（明治 10 年）に来日し、東京大学の動物学教授をつとめたアメリカ人、エドワード・モースは日本人の行儀良さ、穏かさに感嘆しています。

又、長崎海軍伝習所の教官であったヴィレム・カッテンディーケは、「上流家庭の食事も至って簡素で、貧乏人も富貴の人も、さほど違った食事をしている訳ではない。日本人が他の東洋諸民族と異なる特性の一つは、奢侈贅沢に執着心を持たない事であって、非常に高貴な人の館ですら簡素なものである。」と書いている。

幕末から明治にかけて来日した多くの外国人は、日本人が過剰な欲望を持たず、簡素ながら豊かで幸せな生活をしていたと観察している。日本人の礼儀正しさや無償の親切、争いの無い社会といった特質は、明治以降の近代化を進める精神的基盤となった。

P 1 8 0 ~ 1 8 1

大日本帝国 憲法の発布 (自由社) 天皇主義の 憲法 (学び舎)	1889 年 (明治 22 年) 大日本帝国憲法が発布された。 この日は祝砲が轟き、山車が練り歩き、祝賀行事一色となった。大日本帝国憲法は、先ず天皇が日本を統治すると定め、その上で実際の政治は各大臣の輔弼 (助言) に基づいて行うものとし、天皇に政治的責任を負わせない事もうたわれた。国民には兵役と納税の義務があると共に、法律の範囲内での言論、集会、結社、居住と移転、信教の自由が保障された。 P 1 8 6	1889 年 (明治 22 年) 2 月 11 日、明治天皇は伊藤博文が用意した大日本帝国憲法を受け取り、それを内閣総理大臣の黒田清隆に授けました。式は 10 分間で終了しました。 1881 年、政府は国会開設を決め、国家の組織づくりを進めました。伊藤博文はドイツ帝国に行き君主権の強い憲法を学んで帰り、憲法案を作りました。 1885 年には内閣制度を作り、伊藤が初代の内閣総理大臣となりました。自由民権運動の活動家 570 人以上を東京から追放したまま憲法を発布しました。 P 1 8 6
帝国議会	1890 年 (明治 23 年) 初めての衆議院選挙が行われ、第一回帝国議会が開かれた。これによって、日本はアジアで最初の議会を持つ本格的な立憲国家として出発した。 P 1 8 7	1890 年、初めての衆議院選挙が行われました。植木枝盛や中江兆民らが当選し、自由民権派の流れを汲む政党が過半数を占めた。多数の衆議院議員は地租の軽減を主張し、軍事費を増やす政府の予算案に反対しました。政府は一部の議員に金を渡して買収をした為、兆民は怒って議員を辞職してしまいました。 P 1 8 7
教育勅語の 発布 (自由社) 教育勅語と 御真影 (学び舎)	これは父母への孝行、学問や公共心の大切さ、そして非常時に国の為に尽くす姿勢など、国民としての心得を説いた教えで、1945 年 (昭和 20 年) の終戦に至るまで各学校で用いられ、近代日本人の生き方に大きな影響を与えた。 1 4 の徳目を天皇の言葉として短くまとめたもので、	子ども達が講堂に整列して「君が代」を斉唱する。校長は礼服に白手袋...校長が厳かな口調で読み上げる。正面には天皇と皇后の「御真影」が。校長が最後に「御名御璽」と読み終えると、子ども達はほっとして鼻をすすりながら顔を上げる。

	学校の儀式で読み上げられた。又、多くの言語に翻訳され、海外にも知られた。 ＊現代文の要約あり	1896 年三陸海岸を襲った大津波の時、岩手県の小学校教師 枅内泰吉（とちないたいきち）は、天皇の写真を運び出す為に学校に駆けつけ、大波にさらわれて死亡しました。
	P 1 8 7	P 1 8 7
人物クローズアップ（自由社コラム） 福沢諭吉の「学問のすすめ」と「脱亜論」 福沢は 1872 年（明治 5 年）「学問のすすめ」を発表し、「一身独立して一国独立する」という名言を残した。日本人一人一人が独立の心を持つ事が、日本を西洋列強と対等に付き合う事が出来る。独立した国家にする為には国民が良く学ぶ事が大切であると説いた。 福沢は隣国の朝鮮、清も外国に侵略されない独立国になる事を望み、その為の協力を惜しまなかった。朝鮮王朝によって 15 世紀に発明されながら、十分には普及していなかったハングル文字を国民教育の為に使用する事を勧めたのも福沢であった。 しかし、朝鮮政府の中の守旧派が、開化派が進めようとする近代化政策に反対し、朝鮮を属国と見ている清は朝鮮に軍事的圧力をかけて朝鮮の近代化政策に干渉した。その為福沢が援助していた金玉均たちの開化派は清の軍隊によって潰されてしまう。（甲申事変）福沢は甲申事変の直後に「脱亜論」という論文を発表した。		
P 1 8 8 ～ 1 8 9		
日清戦争 （自由社） 日本軍と戦った朝鮮の農民達 （学び舎）	1894 年（明治 27 年）朝鮮南部で東学と呼ばれる民間の宗教団体を中心とした農民の暴動が起こり、僅かな兵力しか持たない朝鮮王朝は、鎮圧のための出兵を清に要請した。日本も清との申し合わせに従って軍隊を派遣したが、日清両軍が衝突して日清戦争が始まった。清軍に比べて日本軍は訓練、規律が行き届いて居り、戦う意欲も高かった。日本の国民は政府の方針を我が事と受け止め、戦いに協力した。	日清戦争が本格化すると、農民軍は馬を提供したり、荷運びなどをして日本軍に協力しないように人々に呼びかけ、日本軍を追い出す為に各地で戦いました。日本軍が農民軍を徹底的に弾圧する方針を取ったので、農民軍に多くの死傷者が出ました。
	P 1 9 0	P 1 9 4 ～ 1 9 5
下関条約と三国干渉 （自由社） 下関条約と台湾の征服 （学び舎）	1895 年（明治 28 年）下関条約を結び・・・ 古代から続いた東アジアの華夷秩序は崩壊し、清はたちまちにして欧米列強による分割の対象となった。 東アジアに領土的野心を持つロシアは、ドイツ、フランスを誘って遼東半島を清に返還するよう、日本に迫った（三国干渉）	日本に譲渡される事になった台湾の人々は、日本の支配に反対する行動に立ち上がり、1895 年 5 月、台湾民主国を樹立し、独立を宣言して元号や国旗も決めました。 日本が 76000 人の軍隊を送り込んで台湾を制圧しましたが、その後も日本の植民地支配に抵抗を続けました。 ＊台湾民主国の国旗が出ている
	P 1 9 1	P 1 9 5

(学び舎) 尖閣諸島の領有 日本政府は 1895 年 1 月、尖閣諸島を日本の領土（沖縄県）として編入する事を閣議で決定しました。 P 1 9 5		
日英同盟	19 世紀末、ロシアは不凍港を求めて東アジアに目を向け始めた。1891 年にはシベリア鉄道の建設に着手し、更に朝鮮半島に入り込んで、鉱山、鉄道敷設、租借地の利権獲得に努めた。 南下するロシアに危機感を抱いたに日本と英国は、1902 年（明治 35 年）日英同盟を締結した。日英同盟はこの後 20 年間、日本の安全と繁栄に大きく役立った。 P 1 9 2 ～ 1 9 3	ロシアは義和団戦争後も満州から引揚げず、朝鮮への支配を強めようとした。一方イギリスは、ロシアに対抗する同盟団を求めている為、1902 年、日英同盟が結ばれました。 P 1 9 7
(学び舎) 日露戦争 日露戦争の最中（1905 年 1 月）竹島を日本の領土として編入する事を閣議決定した。 P 1 9 9		
(学び舎) 土地を奪われた朝鮮の農民 — 韓国併合 《土地を買い占める東洋拓殖会社》 1912 年の春、朝鮮南部の村に東洋拓殖会社の社員が憲兵を連れてやって来ました。社員達が水田の境界に次々と杭を打ち込んでいくと、農民たちは激しく抗議しました。・・・朝鮮総督府は土地の所有者をはっきりさせ、地租を決める為として、1910 年から朝鮮全土で土地調査事業を進めていました。当時、朝鮮に居た日本人の多くは、朝鮮人とは違うという考えから、朝鮮人を一段低く見ていました。人力車の料金を朝鮮人の車夫に投げつけ、「足りない」と言われると、「朝鮮人のくせに」と暴力をふるう日本人も居ました。 P 2 0 2		
(学び舎) 独立マンセー（万歳）の叫び 1919 年 4 月、京城から 100 k m 離れた並川（ピョンチャン）という町の市場に、およそ 3000 人の人々が集まり、「3 月 1 日に京城で独立が宣言された。私達も独立万歳を叫ぼう」という演説があり、人々は一斉に「独立マンセー」と叫びました。その中に柳寛順（ユグァンスン）も加わっていました。日本の憲兵隊が集まった人々に向けて発砲し、柳寛順（ユグァンスン）も逮捕されて裁判にかけられ、翌年 10 月刑務所に入れられたまま死亡しました。最後まで朝鮮独立の意思を捨てなかったと言われます。朝鮮全土で盛んに集会が開かれ、独立を宣言する運動が行なわれ、この運動には約 110 万人が参加し、4 月末までに 1200 回以上のデモが行われました。（3. 1 独立運動） P 2 1 2		
もっと知りたい（自由社コラム）日露戦争を戦った日本人 久松五勇士 日本人で最初にバルチック艦隊と遭遇したのは、沖縄県宮古島の若い漁師だった。宮古島には生憎通信施設がない為、通信施設のある八重山諸島の石垣島までの使いの役を引き受けたのが、久松地区の 5 人の青年だった。5 人は		

サバニと呼ばれる丸木舟に乗って、夜の荒波を 15 時間、170 k m の距離を必死に漕ぎ、島に着いてから更に 30 k m の山道を走って状況を伝えた。その情報は東京の大本営に伝えられた。人間の生理的限界を超えて大役を果たした 5 人は、「久松 5 勇士」として、その功績が今も称えられている。(写真あり)

日本海海戦において、ロシア艦隊 38 隻のうち本国へ逃げ帰ったもの 2 隻、目的地ウラジオストックにたどり着いたのは纔に 3 隻という有様だった。日本は水雷艇 3 隻のみで、世界の海戦史に長く残る大勝利を収めた。

東郷大將は佐世保港に帰還した後、日本の海軍病院に入院していたロシア艦隊の司令長官ロジェストヴェン中將を見舞った。当時の武人は敵味方の別を越え、武士道に基づいて振る舞う礼節の心を持ち合わせていたのだ。イギリス中部のパローインファーンネスという小都市に、連合艦隊の旗艦三笠を造ったビッカース造船所がある。当時の市民は三笠の活躍を喜び、三笠が進水した真正面の対岸の街にはミカサストリートと名付けられた通りがある。

P 1 9 6 ~ 1 9 7

(学び舎) 米屋に向かう民衆、米騒動

富山県から始まった米騒動は、名古屋に於いても鶴丸公園に沢山の人が集まり、多い日には 5 万人になりました。その多くは労働者か職人でした。人々は安売りを求めて米屋に向かい、警察官と激しく衝突し、軍隊も出動し、多数の負傷者や逮捕者が出ました。名古屋だけでなく、大阪、神戸、京都、東京、横浜など、全国に広がりました。

(米騒動) 又、労働組合の数が急増し、賃金の引き上げや労働時間の短縮などを求める労働争議が起こり、1920 年には第一回メーデーが開かれ、翌年、労働運動の指導や支援を行う日本労働総同盟が結成されました。1922 年には日本共産党が政府の弾圧を避ける為、秘密のうちに結成されました。

P 2 1 4 ~ 2 1 7

(学び舎) 関東大震災 いわれなく殺された人々

1923 年 9 月 1 日、マグニチュード 7.9 の大地震が関東地方を襲いました。地震後、「朝鮮人が攻めて来る」などの流言が広められ、軍隊、警察や住民による自警団によって、夥しい数の朝鮮人が虐殺された。数多くの中国人や日本人の社会主義者も虐殺された。

* 虐殺された朝鮮人の数

当時の政府調査 230 人や約 2610 人(吉野作造調査)、約 6650 人(在日朝鮮人調査)などがある。

虐殺された人数は定まっていない。

P 2 1 7

(学び舎) 山本宣治の人物調べ

P 2 2 0

人物クローズアップ(自由社コラム) 明治国家を背負った政治家 伊藤博文

伊藤博文は幕末の長州藩で武士の中で最も身分の低い足輕の家に生まれたが、吉田松陰の松下村塾で学び、次第に頭角を現した。45 歳で初代の内閣総理大臣に就任し、井上毅、伊東巳代治、金子堅太郎らと共に心血を注いで憲法の草案を作った。

伊藤は 1909 年(明治 42 年)日露戦争後の極東問題をロシアと協議する途上、ハルビン駅頭で大韓帝国の民族運動家の安重根にピストルで撃たれ、暗殺された。生涯伊藤の行動を支えていたのは、「日本という国家を思う心」だった。

P 2 0 0 ~ 2 0 1

外の眼から見た日本（自由社コラム） 世界が見た日露戦争

日露戦争での日本の勝利は、人種差別に基づく欧米中心の世界秩序を揺るがすものとなった。この報道が全ヨーロッパに伝わると、全ヨーロッパの人民はあたかも父母を失った如くに悲しみ憂いた。しかしアジアでは、日本がロシアに勝った事により、アジア民族の独立に対する大いなる希望になった。

エジプトの民族運動の指導者、ムスタファー・カーミルは、「日本人こそはヨーロッパに身の程をわきまえさせてやった唯一の東洋人である」と述べた。

P 2 0 8

ロシア革命	ソビエト政府はドイツとの戦争を止め、革命に反対する国内勢力との内戦に没頭した。皇帝一族を始め、共産党が敵とみなす貴族、地主、資本家、聖職者、知識人らが数知れないほど殺害された。飢饉も発生し、数百万人の農民が餓死した。 ＊1920年、シベリアのアムール川の河口にあるニコライエフスク市をソ連共産党の 4000 人の非正規軍が襲い、日本軍守備隊、居住民など約 700 人の日本人が惨殺された。市全体の犠牲者は 6000 人に及んだと言われている。	ロシア革命と平和 1917 年 3 月、ロシアの首都、ペトログラードで女性達が先頭に立った大規模なデモが行なわれ、兵士達もデモ鎮圧の命令に従わず、武器庫、駅、役所、更に宮殿を占拠し、兵士や労働者のストライキによって皇帝は退位に追い込まれました。 1917 年 11 月ソビエト政府を作ると直ちに戦争を止め、1918 年 3 月ソビエト政府はドイツと講和条約を結び、戦争から抜け出しました。ソビエト政府は地主の土地を農民に与え、工場や銀行を国有にする事を宣言しました。 この革命の影響もあって、世界各地で植民地の独立を求める運動や、労働者の権利を求める運動が強まりました。
ベルサイユ条約と 国際連盟	1919 年（大正 8 年）パリ講和会議が開かれ、日本は 5 大国（米英仏日伊）の一国として出席し、ベルサイユ条約が結ばれた。1920 年国際連盟が発足した。	日本が五大国になった記載なし
否定された 日本の 人種平等案	日本はパリ講和会議で、国際連盟規約に人種差別撤廃を盛り込む事を提案した。世界中の有色人種は、この決議に期待した。投票の結果は 11 対 5 で賛成多数を占めたが、議長役のアメリカ代表のウィルソンは、重要案件は全会一致を要するとルールを曲げて決議の不採択を宣言した。この事に多くの日本人は落胆した。	記載なし

アメリカの 排日政策	日米間では日露戦争後から人種差別問題が起こった。 カリフォルニア州では、1913 年（大正 2 年）に排日土地法が制定され、日本人が新たに農地を購入する事が出来なくなった。 1924 年（大正 13 年）アメリカは日本人の移民の受け入れを全面的に禁止する排日移民法を制定した。これに対し、日本の世論は沸騰した。 P 2 2 0	記載なし
ワシントン 会議と 国際協調 アメリカに よる 日英同盟の 廃棄	1921 年（大正 10 年）から翌年にかけて、ワシントン会議がアメリカの提案で開かれた。この会議では、米、英、日の主力艦の保有率は 5 : 5 : 3 とする事が決められた。 又、中国の領土保全、門戸開放が「9 か国条約」として成文化された。それとは別に、20 年間続いた日英同盟が破棄された。それは日本もイギリスも望んでいなかったにも関わらず、アメリカの強い意向で決定され、日本は頼りになる同盟国を失う事になった。 P 2 2 0 ~ 2 2 1	1921 年からアメリカの呼び掛けでワシントン会議が開かれ、各国は海軍力を縮小する条約に調印しました。又、中国の主権を尊重する事を決め、日本は山東（シャントン）半島の利権を返しました。 *軍艦の保有率、9 か国条約にも触れていない P 2 1 1
世界恐慌と 昭和恐慌	1929 年 10 月 24 日、ニューヨーク株式市場が「暗黒の木曜日」と呼ばれる株価の大暴落を記録し、不況は世界中に及んで世界恐慌となった。 日本でも企業の倒産、休業が相次ぎ、大量の失業者が発生した。 アメリカでは国家予算を使って、大規模な公共事業を行なった。（ニューディール）が、アメリカ経済はなかなか回復しなかった。 P 2 2 4 ~ 2 2 5	労働者はリストラや賃金引下げに反対し、紡績工場などでは女子労働者が団結して労働争議を続けました。 又、小作農は地主による土地取り上げに反対して、各地で小作争議を起こしました。 P 2 2 7
二つの 全体主義	一つは共産主義であり、もう一つはドイツ、イタリアに於けるファシズムであり、どちらも個人の自由を否定する全体主義である。 スターリンが権力を握ると、重工業を重視し、農業の手段化を進める一方で、秘密警察や強制収容所を用いて膨大な数の反対者を処刑した。	記載なし

	1922 年（大正 11 年）日本共産党が「コミンテルン日本支部 日本共産党」として密かに創立された。 P 2 2 6 ～ 2 2 7	
中国の 排日運動	日本が年号を昭和と改めた頃、中国では各地に私兵を抱えた軍閥が群雄割拠していた。孫文の後を継いだ蒋介石は国内の統一を目指した（北伐）この頃の中国では、中国に權益を持つ日本や欧米諸国を排撃する動きが高まった。暴力によって革命を実現した共産主義思想の影響も受け、過激な性格を帯びるようになり、日本に対しても商品をボイコットし、日本人を襲撃する排日活動が活発になった。 P 2 2 8	記載なし
（学び舎）ヒトラーの独裁が始まる ナチ党のドイツ ヒトラーは、1933 年 1 月に首相（後に総裁）の地位に付きました。 ヒトラーは首相の地位につくと直ぐに、ナチ党以外の全ての政党を解散させました。 そして、国会の議決なしに法律を制定出来る権限を得て、ヒトラーの独裁を確立しました。 P 2 2 8		
（学び舎）水晶の夜 ユダヤ人迫害 1938 年 11 月の夜、ドイツ全土でユダヤ人商店のショーウィンドウや窓ガラスが次々と打ち壊され、ユダヤ人への略奪、暴行が広がりました。町中に飛び散ったガラスが光る様子から、水晶の夜と呼ばれています。 P 2 2 9		
満州を巡る 状況 (自由社) <u>鉄道爆破</u> <u>から始まった</u> <u>日本の中</u> <u>国侵略</u> (学び舎)	日露戦争の勝利によって、日本は遼東半島南部の関東州を租借し、長春より南の鉄道の営業権をロシアから譲り受け、南満州鉄道（満鉄）を設立した。 昭和初期の満州には 20 万人以上の日本人が住んでいた。その保護と関東州及び満鉄を警備するため、1 万人の陸軍部隊（関東軍）が駐屯していた。 関東軍は、満州の軍閥、張作霖（ちょうさくりん）を爆殺し、満州への支配を強めようとした。 これに対し、中国人による排日運動が激しくなり、列車妨害やテロ活動が頻発して、日本人居留民の安全が脅かされた。 更に、北にはソ連の脅威があり、南からは国民党の力も及んできた。	中国では孫文（スンウェイ）の後継者、蒋介石（チャンチェシー）を司令官とする中国国民革命軍が各地の軍閥を打倒して中国統一をめざす革命を進めていました。 1927 年には国民政府の成立を宣言し、南京を首都としました。 1928 年 6 月、満州の奉天（フォンティエン）付近で 20 両編成の列車が突然大爆発を起こし、破壊されました。この列車に乗っていた中国の実力者 張作霖（チャンツォリン）は列車内で死亡しました。 張作霖（チャンツォリン）は満州最大の軍閥の将軍で、軍事力でこの地域を支配していました。

	こうした中、関東軍の一部将校は、満州を軍事占拠して排日勢力を駆逐し、日本の権益を守る計画を練り始めた。 P 2 2 9	<u>この鉄道爆破事件は、満州に居た日本の関東軍が計画、実行したものでした。</u> P 2 3 0
満州事件から満州国の建国へ	1931 年（昭和 6 年）9 月、関東軍は奉天（ほうてん）郊外の柳条湖で満鉄の線路を爆破し、これを中国側の攻撃だとして満鉄沿線都市を占領した。 政府と軍部中央は不拡大方針をとったが、関東軍は軍事行動を拡大し、全満州の主要地域を占領した。満州で日本人が受けていた不法な被害を解決できない政府の外交方針に不満をつのらせていた国民の中には、関東軍の行動を支持する者が多く、陸軍には多額の支援金が寄せられた。その為、政府も関東軍の行動を追認した。（満州事変） P 2 3 0	1931 年（昭和 6 年）9 月 18 日の夜、南満州鉄道とその周辺を守備する関東軍は、柳条湖（リウティアオフー）付近で満鉄の線路を自ら爆破しました。これを即中国軍の犯行であるとして、奉天（フォンティエン）にいた中国軍を攻撃し、次々と戦闘を広げていきました。そして満州全土を占領し、1932 年に満州国を建国させました。 P 2 3 1
リットン調査団（自由社） 国際連盟からの脱退（学び舎）	イギリスのリットン卿を団長とするリットン調査団は、満州における日本の権益の正当性や満州に在住する日本人の権益と安全が脅かされている事を認めた。しかし、日本による満州国建国は認めず、満州の占領地からの日本軍の撤兵と満州の国際管理を勧告した。 既に満州国を承認していた日本政府は、1933 年（昭和 8 年）この勧告を拒否し、国際連盟を脱退した。その後日中間で停戦協定が結ばれ、満州国は五族協和、王道楽土の建設のスローガンの下、日本の重工業の進出などにより、経済成長を遂げた。しかし、一方では反日、抗日も頻発した。 P 2 3 0～2 3 1	日本は国際連盟に於いて「日本軍は占領地から満鉄線周辺まで撤退すべき」との勧告案を賛成 42、反対 1（日本）で可決されました。 これを不服とした日本は国際連盟から脱退し、この勧告案には従わなかった為、国際社会で孤立する道を歩み始めました。 <u>しかし、日本の新聞は国際連盟や中国の態度を非難する記事を発表して、満州は日本のものとする世論を作り出そうとしました。</u> P 2 3 1
コミンテルンの世界革命戦略（自由社） コミンテルン（世界共産党）は、社会主義のソ連を守りつつ、欧米や日本の植民地や従属国で活動する、世界革命戦略を企てた。活動拠点の中国では、日本が次第に標的となっていた。 P 2 3 2		
日中戦争の始まり（自由社） 1937 年（昭和 12 年）7 月 7 日の夜、北京郊外の盧溝橋で演習していた日本軍に向けて、何者かが発砲する事件が起き、翌日には中国軍と戦闘状態になった。（盧溝橋事件） 現地の日軍にも中国軍にも戦闘拡大の意図は無く、4 日後に停戦協定が結ばれたが、その日近衛首相は派兵を		

決定し、中国側も日本人への襲撃などの挑発を止めなかった事もあり、本格的な戦闘状態となった。

P 2 3 3

通州事件（自由社）

北京東方の通州には親日政権が作られていたが、1937 年（昭和 12 年）7 月 29 日、日本の駐屯軍不在の間に中国人部隊は日本人居住区を襲い、日本人居留民 385 人のうち、子供や女性を含む 223 人が惨殺された。

P 2 3 3

上海事変
（自由社）

日本の
侵略

中国の
抵抗
（学び舎）

1937 年 8 月には各国の租界がある上海で、2 人の日本の軍人が惨殺される事件が起こり、8 月 13 日には中国軍の大軍と日本人居住区を守っていた日本軍との間で戦闘が始まった。（上海事変）
日本軍は中国軍の精鋭部隊に苦戦を強いられ、11 月までに 4 万人の死傷者を出した。
中国軍はドイツの軍事指導者と武器援助を受け、強力な軍隊に変貌していた。
中国はその見返りに希少金属のタングステンを与えて、ヒトラーの軍備拡張を支えた。
日本軍は国民政府の首都 南京を落とせば蒋介石は降伏すると考え、12 月に南京を占領した。しかし蒋介石は重慶に首都を移し、抗戦を続けた。

P 2 3 3

1937 年 7 月、北京郊外の盧溝橋（ルーコウチャオ）で日中両軍が衝突しました。これをきっかけに、宣戦布告をしないまま、日本は中国と全面的な戦争を始めました。
日本軍は上海を占領し、更に国民政府の首都 南京へ向かって進撃。日本軍は 12 月、南京を占領しました。この時、国際法に反して大量の捕虜を殺害し、老人、女性、子供を含む多数の市民を暴行、殺害しました。（南京事件）
日本では南京占領を祝う行事が盛大に行われました。

P 2 3 4 ～ 2 3 5

（学び舎） 重慶（チョンチン）への大爆撃

国民政府は内陸にある重慶（チョンチン）へ首都を移しました。これに対して日本軍は 1938 年から重慶（チョンチン）の市街地なども無差別爆撃しました。

1940 年になると、空爆は 112 日間連続で行われ、市民の死傷者は 9000 人を越えました。

日本軍は華北の村を徹底的に破壊する戦法をとり、これを「焼き尽くす、奪い尽くす、殺し尽くす」三光作戦と呼びました。

P 2 3 5

自由社 日中戦争の長期化

日本は戦争の早期終結を望み、和平工作の動きが幾度も生まれたが、日中双方共、政府の足並みが揃わず、ことごとく挫折した。蒋介石は米・英・仏・ソの支援を受けて戦争を継続した為、泥沼化していた。

アメリカは日米開戦前の 1940 年頃から、義勇軍と称して空軍パイロットを戦闘機と共に中国に送り込んでいた。この部隊をフライング・タイガースという。

又、米・英・仏・ソ共に、戦費の援助も行った。

P 2 3 4 ～ 2 3 5

自由社 悪化する日米関係

1938 年（昭和 13 年）近衛文麿首相は、東亜新秩序構想の声明を発表した。東亜とは、日本、満州、中国を含む地域を指し、ここに日本を中心とした独自の経済圏を作る構想だった。

国内の不況が長引くアメリカは、門戸開放、機会均等を唱え、近衛の声明に強く反発し、日本が独自の経済圏を作ることを認めず、表面上は中立を守っているように見せかけ、この頃から蒋介石を公然と支援するようになり、日米戦の種が蒔かれた。

1939 年、アメリカは日米通商航海条約を延長しないと通告した。石油をはじめ多くの物資をアメリカからの輸入に依存していた日本は苦しい立場に追い込まれた。

日本の陸軍には北方のロシアの脅威に対処する北進論の考え方が伝統的に強かったが、この頃から東南アジアに進出して石油などの資源を確保しようとする南進論の考えが強くなっていった。

P 2 3 5

ナチスドイツ
とヨーロッパの
戦争
(自由社)
戦火に追われる
人々
第二次
世界大戦
(学び舎)

ナチス ドイツは 1939 年（昭和 14 年）9 月、ポーランドに電撃的に侵攻した。

独・ソ両国は、かねてからの密約により、ポーランドを分割した。

P 2 3 6

1939 年 9 月 1 日、ドイツが大軍でポーランドに侵攻しました。ポーランドの首都 ワルシャワは、連日のようにドイツ空軍の爆撃を受けました。

ドイツ軍に占領された地域では、農民は収獲を全て奪われました。

又、占領地から強制連行されて、ドイツ本国の軍需工場などで働かされた人々は 780 万人にのぼりました。

P 2 3 6～2 3 7

経済封鎖で追いつめられる日本 (自由社)

日本は石油の輸出先を求めてインドネシアを領有するオランダと交渉したが、オランダはドイツと戦争中であり、日本に石油を提供しないようにというアメリカの示唆もあった為に、交渉は成功しなかった。

こうして米・英・中・蘭の 4 か国が日本を経済的に追い詰める状況が生まれた。日本の新聞はこれを「ABC 包囲網」と呼んだ。

1941 年 4 月、悪化した日米関係を打開する為に日米交渉がワシントンで始まったが、交渉はまとまらなかった。

7 月に日本軍が南部仏印に進駐すると、アメリカは在米日本資産の凍結に続き、対日石油輸出を全面的に禁止した。

8 月、米英両国は大西洋上で首脳会議を開き、領土不拡大、国境線不変更、民族自決など、戦争の目的と大戦後の方針をうたった大西洋憲章を発表した。

P 2 3 6～2 3 7

ハル・ノートから日米開戦へ (自由社)

経済的に追い詰められた日本は、アメリカとの戦争を何とか避けようと努力を続けたが、アメリカは 11 月、日本に対して中国大陸、インドシナから無条件で撤退を求める強硬な提案文書を突き付けて来た。(ハル・

ノート) 日本はアメリカ政府による最後通告と受け止め、対米開戦を決意した。		P 2 3 7
真珠湾攻撃	日本は英米に宣戦布告し、この戦争は「自存自衛の為の戦争である」と宣言した。 又、この戦争を「大東亜戦争」と命名した。 アメリカは日本の交渉打ち切り通告が真珠湾攻撃より遅れたのは「卑劣な騙し討ち」であると自国民に宣伝した。その「リメンバー・パールハーバー」を合言葉は、それまで戦争に反対していたアメリカ国民を、対日戦争に向けて団結させる結果をもたらした。	アジア、太平洋地域に拡大していく戦争をアジア太平洋戦争（太平洋戦争）と呼びます。 （当時の日本政府は、この戦争を中国との戦争を含めて、大東亜戦争と命名しました。）
	P 2 3 8	P 2 3 8
（学び舎）第二次世界大戦が広がる。 石油も鉄も人間も 1942 年になると、日本軍はマレー半島でイギリス軍を破り、シンガポールとマラヤ（マレーシア）を占領しました。日本軍はシンガポールの中国系住民を何か所かに集合させて、日本に敵対ししているとみなした人々を処刑しました。 日本軍は更にフィリピン、インドネシア、ビルマ（ミャンマー）など、東南アジア全域と香港を支配しました。ボルネオ、スマトラ、ビルマでは油田を接収し、フィリピンやマラヤでは鉄鉱石の鉱山を接収して重要な資源を獲得しました。 又、日本軍は東南アジア各地から人々を労務者として集め、飛行場建設などの肉体労働に駆り立てました。 <u>日本は東南アジアの国々を、欧米の植民地から解放して「大東亜共栄圏」を作ると宣言していましたが、日本軍がこの地域での支配を強めた為、各地で抗日、独立運動が起こりました。</u>		
（学び舎）朝鮮、台湾の人々と日本の戦争 日本政府は、敗戦までに約 70 万人の朝鮮人を国内の炭鉱などに送り込み、働かせました。長時間の重労働で食事も不十分だった為に、病気になったり、逃亡する人も多数いました。 更に、志願や徴兵で、多数の人々が動員されました。その数は、朝鮮からは軍人 20 万人以上、軍族約 15 万人、台湾からは軍人約 8 万人、軍属役 12 万人にのぼりました。 <u>一方朝鮮、台湾の若い女性の中には、戦地に送られた人たちが居ました。この女性達は、日本軍と共に移動させられ、自分の意志で行動する事が出来ませんでした。</u>		
（学び舎）戦争と二人の少女 ヨーロッパの戦争 *アンネ・フランクとオードリー・ヘップバーン *強制収容所の子供達 働けそうな人は右の列に。「価値なし」と判断された老人、障害者、子供は左の列に並ばされ、「シャワー室」に連れていかれて、猛毒の青酸ガスを浴びせられ、十数分で絶命しました。生き残った子供達は、		

僅かな食事で1日10時間以上労働させられました。

P 2 4 1

（学び舎）赤紙が来た！戦時下の国民生活

＊富山県庄下村（砺波／となみ市）の森田忠信（23歳）は、1932年5月5日に妻と生まれたばかりの子を家に残して富山歩兵連隊に二等兵の新兵として入営しました。戦場に着くと森田達新兵は集められ、中国人捕虜の前に銃剣を持って立たされました。班長は森田達に彼らを「突け！」と命令しました。

＊銃後の女性

国防婦人会などの女性団体は、出征兵を見送り、戦地の兵隊へ慰問品を送りました。

＊ボクラ小国民

子供達は兵器のおもちゃで遊び、戦争ごっこをして育ちました。学校では戦争をほめたたえ、国の為に尽くすように教育されました。

P 2 4 2 ～ 2 4 3

（学び舎）荒れ狂う鉄の暴風 沖縄戦

米軍は1945年3月、多くの子供や住民が残る沖縄に総攻撃を開始しました。日本軍は住民を防衛隊に組織し、中学生などを鉄血勤皇隊員にして、日本軍の戦闘に参加させました。又、住民に住宅や食料を提供させ、飛行場の建設にも動員しました。

住民は日頃から、「捕虜になるなら帝国臣民として死を選べ。米軍は鬼畜だから捕まったら残虐な目に遭う」と教えられていたので、ガマから出て行く事を躊躇しました。日本軍は最期には玉砕を決意して、住民にも手榴弾を配りました。住民がこの手榴弾を爆発させ、家族や近所の人たちと一緒に自決した例が数多くあります。

（集団自決）又、住民が日本軍に殺害される事件も起こりました。

P 2 4 8 ～ 2 4 9

ヤルタからポツダムへ （自由社）

1945年（昭和20年）2月、ソ連領クリミア半島のヤルタに米・英・ソ3国の首脳が集まり、会談が持たれた。アメリカのフランクリン・ルーズベルト大統領は、アメリカの負担を減らす為、ソ連の対日参戦を求めた、スターリンはその代償として、日本領の南樺太と千島列島を要求し、合意を取り付けた。（ヤルタ会談）

この密約は、領土不拡大、国境線不変更を宣言した、大西洋憲章に違反している。

P 2 4 4

沖縄戦・原爆投下・ソ連の侵攻 （自由社）

1945年3月末、アメリカ軍は沖縄に攻撃を開始し、沖縄戦が始まった。この戦いで、沖縄県民にも多数の犠牲が出た。日本軍は良く戦い、沖縄住民も良く協力した。日本では戦争終結をめぐる最高指導者会議が何回も開かれ、中立国のソ連に連合国との講和の仲介を求める事を決した。

しかし7月、ドイツのポツダムに、米・英・ソ3国首脳が集まり、26日に日本に対する降伏条件を示した「ポツダム宣言」を米・英・中の名で発表した。ソ連の対日参戦密約（ヤルタ秘密協定）を知らない日本政府は、ソ連の仲介の返答を待った。

その間の8月6日にアメリカは原子爆弾を広島に投下した。8日、ソ連はヤルタ密約に基づき日ソ中立条約を破って日本に宣戦布告し、翌9日、満州に侵攻してきた。又、同日、アメリカは長崎にも原爆を投下した。

P 2 4 4 ～ 2 4 5

御聖断下る （自由社）

8月14日、天皇はこれ以上の国民の犠牲を避ける為、ポツダム宣言の即時受諾による日本の降伏を決断された。

P 2 4 5

（学び舎） 帰れない人々

戦争が終結して、人々は生命の危険にさらされずに日々を過ごせるようになりました。一方、日本に居た朝鮮人は、帰国しようと一斉に博多や下関などの港に詰めかけました。植民地支配によって生活が苦しくなり、朝鮮から日本に渡って来た人達や、炭鉱などに強制連行されて来た人達です。しかし、日本側の船の手配は進まず、港は人々で溢れました。

P 2 5 3

（自由社） 大東亜戦争とアジアの独立

*アジアの解放を掲げた日本は戦争に敗れたが、アジアは植民地から解放され、独立を達成した。

当時アジア諸国は、白人の欧米諸国の植民地とされ、その支配に苦しんでいた。その為、大東亜戦争初期の日本軍の目覚ましい勝利は、アジアの人々に、独立への希望を抱かせた。しかし、日本軍が進軍した東南アジア諸国では、激しい戦闘が行われ、現地の人々に多大な犠牲を強いる事になった。又、中国でも、日本軍によって多くの犠牲者が出た。

*インドの独立と日本軍

長期に亘ってイギリスの植民地にされていたインドでは、ガンジーなどを指導者として独立運動が起こっていた。指導者の一人のチャンドラ・ボースは、自前の軍隊を持った政府を樹立しなければならないと考えていた。ボースに手を貸したのは、日本軍だった。

日本軍がシンガポールのイギリスの根拠地を奪取した時、多数のインド人がイギリス軍兵士として捕虜となった。この時に捕虜となった1万3千人のインド兵が日本軍の説得により、インド独立の為のインド国民軍となったのである。

1943年（昭和18年）10月21日、シンガポールでボースを首班とする、自由インド仮政府が成立。（24日日本政府承認）インド国民軍は「チャロ・デリー（行け、デリーへ）」と叫びながら日本軍と共に進撃を開始しましたが、失敗に終わった。

終戦後、イギリスはインドの植民地支配を続ける為に、独立運動の指導者を反逆者として裁判にかけようとしたが、インドの人々は独立を叫んで一斉に立ち上がった為、イギリスはついにインドの独立を認めた。

*アジアを覆う独立の波

日本が連合国に降伏すると、欧米諸国は日本の支配下にあったビルマ（ミャンマー）、マレー（マレーシア）、インドネシアに再び支配しようと戻って来ようとした。しかし、日本軍によって指導を受けていた人を始めた人々は勇敢に戦い、再度の支配を跳ね退けた。

戦後、多くの日本兵が現地に残り、アジアの国々の独立の為に共に戦った。

*世界が見た大東亜戦争

ミャンマーのバー・モウ初代首相は自らの著書の中で「歴史を見るならば、日本ほどアジアを白人の支配

から離脱させる事に貢献した国は無い。しかし、日本ほど誤解を受けている国は無い。もし日本が独断と自惚れを退け、開戦当初の一念を忘れなければと、日本の為に惜しまれる」と書いている。

又、タイのクワリット・プラモード元首相は「12月8日」と題して、次のように大東亜戦争を回想している。「日本のお陰でアジア諸国は全て独立した。日本というお母さんは難産をして母体を損なったが、生まれた子供はすくすく育っている。12月8日はお母さんが一身を賭して重大決心をされた日である。8月15日は、我々の大切なお母さんが病に伏した日である。この2つの日を忘れてはならない。」

P 2 4 6 ~ 2 4 7

戦時国際法と戦争犯罪 （自由社）

人類は長い歴史の中で絶え間無く戦争をしてきた。そこで、戦争の戦い方を国際的に決めようという考え方が生まれた。このルールを戦時国際法という。1907年（明治40年）にオランダで締結された、「ハーグ陸戦法規」は、戦時国際法の代表的な物である。

戦時国際法では、戦闘員以外の民間人を殺傷したり、捕虜となった兵士を虐殺する事は戦争犯罪として禁止されている。

*20世紀最大の戦争犯罪

沖縄戦でも、本土の大都市への無差別爆撃でも、非武装の民間人が標的にされて大量に殺害された。

東京大空襲では、一夜にして10万人以上が焼死した。原爆投下による死者は、広島で20万人以上、長崎では7万人以上で、その犠牲者は一般市民だった。原爆投下は、其の被害者の規模に於いても、20世紀最大の戦争犯罪と言える。

*シベリア抑留

8月9日、ソ連は日本との中立条約を破って、満州、樺太に侵攻し、日本の民間人に対して略奪、暴行、殺害を繰り返した。ソ連は日本の降伏後も侵攻を止めず、日本固有の北方領土の占領を終えた時には、既に9月になっていた。更に、捕虜は即座に帰国させるとしたポツダム宣言の規定に違反して、捕虜を含む60万人以上の日本人をシベリアなど各地に連行し、満足な食事与えないまま、過酷な強制労働をさせ、その結果、6万人以上の日本人が死亡した。

これらの戦争の勝者である連合国側の戦争犯罪は、一切裁かれることが無かった。

*日本軍の戦争犯罪

日本軍も、戦時中に侵攻した地域で捕虜となった敵国の兵士や民間人に対して不当な殺害や虐待を行なった事があった。

連合国軍は、日本軍の犯した戦争犯罪を厳しく裁き、1000人に近い人が処刑された。その中には無実でありながら、誤った判決で処刑された人もいた。

P 2 4 8

占領と 戦後改革 (自由社)	アメリカの占領目的は、日本が再びアメリカの脅威にならないよう、国家の体制をそっくり変える事だった。	占領の目的は、日本がアメリカや他の国々を再び脅かす事が無いよう、軍国主義を無くし、民主化を行なう事でした。
----------------------	---	---

占領と民主化 (学び舎)	日本政府は存続したが、その上にマッカーサーが率いる連合国軍総司令部（GHQ）が占領軍として君臨し、指令していた。これを間接統治と呼ぶ。日本では終戦まで検閲が行なわれていたが、占領下でも言論の自由は奪われ、占領軍は 30 項目の禁止事項を元に、徹底した検閲を行なった。 ＊領土の縮小と復員、引き揚げ 日本は、朝鮮、台湾など、日清戦争後に領有併合した領土を全て失った。北方領土はソ連によって不法に占拠された。 P 2 5 2	GHQは軍隊を解散させ、戦争を指導した政治家や軍人を逮捕して、極東国際軍事裁判（東京裁判）にかけました。この裁判では昭和天皇の責任は問われませんでした。 戦争を進める地位にいた人は、公務員や議員の職から追放されました。戦前は抑えられていた政党も、活動を再開しました。 一方でGHQは報道や出版の検閲を行ないました。 又、1947 年、260 万人が参加するストライキを労働組合が計画すると、これを中止させる命令を出しました。 P 2 5 9
東京裁判 （自由社） 戦争中の指導的な軍人や政治家が「平和に対する罪」などを犯した戦争犯罪者（戦犯）であるとして、25 人が有罪判決を受け、うち 7 人が死刑判決を下された。 又、GHQは戦時中に公的地位にあった者など、各界の指導者約 20 万人を公職追放した。 P 2 5 3		
日本国憲法の制定 (自由社) もう戦争はしない 日本国憲法 (学び舎)	GHQは約一週間で自ら作成した英文の憲法草案を日本政府に示し、憲法の根本的な改正を強く迫った。 日本政府は交戦権の否認などを含む草案に衝撃を受けたが、拒否した場合、天皇陛下の地位が存続出来なくなる事を恐れ、やむを得ずこれを受け入れ、帝国議会の審議を経て 11 月 3 日、日本国憲法として公布した。 P 2 5 3	1947 年「あたらしい憲法のはなし」という社会科の教科書が全国の中学 1 年生に配られました。 「今度の憲法は民主主義を根本の考え方としていますから、主権は当然国民にあります。皆さんは憲法で基本的人権という立派な権利を与えられました。兵隊も軍艦も飛行機も、およそ戦争する為の物は一切持たない事。よその国と争いごとが起こった時、決して戦争によって相手を負かして自分の言い分を通そうとしない事を決めたのです。」 GHQは憲法研究会の憲法案などを参考にして、GHQ草案を作り、政府に示しました。政府はGHQ草案を元にして、新たに憲法改正案を作成しました。戦後初の選挙で選ばれた衆議院議員がこれを審議しました。 この中で国民主権が明記され、生存権が定められるなど、重要な修正が加えられました。 P 2 6 0～2 6 1

（学び舎）日本国憲法と旧植民地の人々

日本に住んでいた、朝鮮、台湾など旧植民地出身の人達は、1947年5月2日、憲法施行前日の勅令（天皇の命令）で「当分の間、外国人とみなす」とされ、1952年には一方的に日本国籍を奪われました。

朝鮮出身の石成基（ソクソング）は、戦争中日本国民として徴用され、マーシャル諸島で右腕を失った。1952年に日本国籍が無い事を理由に、戦病者に対する年金を打ち切られた。

P 2 6 1

（学び舎）新しい教育が始まる

日本国憲法に基づいて「個人の尊厳を重んじ、真理と平和を希求する人間」を育てるとする教育基本法が制定されました。戦前の教育の中心であった教育勅語と修身は廃止されました。歴史教科書は神話からではなく、石器時代から始まるようになりました。

P 2 6 3

（学び舎）解放された朝鮮半島では

朝鮮の新しい国づくりが始まりました。労働組合が結成されて、日本人の工場を引き継ぎ、農民組合は地主に小作料の引き下げを要求しながら、収穫したコメを都市の人々に配給しました。

P 2 6 4

（学び舎）米ソの対立と新中国の誕生

ソ連軍によってドイツから解放された東ヨーロッパの国々や、レジスタンスが盛んだったフランス、イタリアでは、第2次世界大戦の後、共産党への支持が広まりました。

中国では、日本との戦争に勝利した後、国民党と共産党軍の間で内戦が始まりました。共産党は土地を農民に分ける事を約束して支持を得、1949年に中華人民共和国が成立しました。一方、国民党は台湾に移りました。

P 2 6 4

（学び舎）インドも中国も来なかった日本の独立

1951年9月、国交を回復する為の講和会議がアメリカ、サンフランシスコで開かれました。

しかし、インドはこの会議に出席しませんでした。日本を占領していたアメリカ軍の引き上げを定める条文が平和条約の案に無かった為です。

又、連合国の間で、中国を代表する政府について意見が分かれた為、中華人民共和国も中華民国も講和会議に招かれませんでした。大韓民国（韓国）と朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）は、日本の戦争相手国ではなかったとして、やはり会議に招かれませんでした。その為、日本が戦争で最も大きな被害を与えた中国、植民地としていた朝鮮半島の国は、講和会議には参加できませんでした。

韓国とは1965年の日韓基本条約迄、中国とは1972年の日中共同声明迄、国交は正常化されませんでした。北朝鮮との国交はまだ開かれていません。

P 2 6 6～2 6 7

（学び舎）アジアの独立と日米安保条約

第2次世界大戦後、アジアの国々は次々と独立を達成しました。

1951年平和条約に調印した当日、日本とアメリカは日米安全保障条約（日米安保条約）を結びました。これにより、独立後も引き続きアメリカ軍が日本に駐留し、国内の基地の自由な使用を認める事になりました。

P 2 6 7

占領下の検閲と東京裁判 （自由社）

* 占領期は戦争の継続

1952 年（昭和 27 年）4 月に独立を回復するまでの 6 年 8 か月間、日本は主権を奪われ、外交権も無かった。

1945 年 8 月 15 日には「戦闘」が終わっただけで、戦勝国の意思を敗戦国に押し付ける政策は占領期間中も継続し、戦争が本当に終わったのは、日本が独立を回復した時だと考えられる。

アメリカの占領目的は、日本が再びアメリカに武力を持って立ち向かう事の無いように、日本の国家体制を改造する事だった。そこで、占領期間中に英文で書いた憲法原案を与えるなどの、国家改造を行った。

それが「民主化」と呼ばれた一連の占領政策の意味である。占領期間中に憲法を変える事は戦時国際法で禁止されている行為である。

* 戦争についての罪悪感を植え付ける

占領軍は占領直後から、新聞、雑誌、ラジオ、映画等、全てに亘って言論に対する厳しい検閲を行なった。連合国を批判したり、日本の立場を擁護する事も禁止した。更に GHQ は「戦争についての罪悪感を日本人の心に植え付ける為の情報宣伝計画」（War Guilt Information Program）を軍事作戦として実施し、日本人が「自分達は悪い侵略戦争をした罪がある」と考えるように仕向けた。

* 東京裁判と国際法

東京裁判は

- ①勝った側が負けた側を裁いた
- ②裁判官も検察官も大多数が勝った側から出た
- ③勝った側の戦争犯罪は裁かれなかった

という指摘がある。

又、平和に対する罪などは、戦後に出てきた考えで、事後法によって裁いてはならないという近代法の原則にも反するという指摘もされている。

インド代表のパル判事は、この裁判は国際法上の根拠を欠いているとして、全員の無罪を主張したが、GHQ はこの意見は公開しなかった。

P 2 5 4 ~ 2 5 5

独立の回復 （自由社）

1952 年（昭和 27 年）4 月 28 日、サンフランシスコ講和条約が発効し、日本は独立を回復した。

独立後の日本は、戦場となったアジア諸国に賠償を行なった。

* アジア各国への戦後補償の金額、国家賠償、経済技術援助の一覧表あり

P 2 5 8

日米安保条約の改定 （自由社）

1957 年（昭和 32 年）に首相となった岸信介は、日米安保条約の改定をめざし、1960 年（昭和 35 年）1 月、新条約に調印した。これより、日本の安全保障は強化された。

P 2 5 9

（学び舎）国会と包囲する人波 日米安保条約の改定

「民主主義を守れ」「戦争反対」の声

1960 年 5 月、小林トミは日米安保条約の改定案が衆議院で強行採決されたニュースを聞きました。安保条約によって日本は戦争に巻き込まれるのではないかと、戦争になったら大変だと思い、デモに参加する事を決心しました。プラカードを持ち「一緒に歩きましょう」と呼びかけると、2 人で始めたデモに、歩道から大勢の人が加わって、300 人程の列になりました。 自民党の岸信介内閣は、日米関係を強化する為に日米安全保障条約を改定しようとしていました。社会党など野党はこれに激しく反対しました。それだけでなく、日米安保条約の破棄を求める運動が全国に広がっていきました。国会周辺は最大で 30 万人を超す人波で埋まりました。各地で社会党、日本共産党や労働者、市民、学生によって集会やデモ行進が行われました。(安保改定)	P 2 7 0
(学び舎) アメリカの支配が続く沖縄 1953 年、伊江島では米軍が銃剣で住民を追い立て、ブルドーザーで家を壊して土地を取り上げ、基地を拡張しようとしていました。住民は座り込みなどで抵抗を続けました。米軍基地反対の運動は沖縄全体に広がり、「島ぐるみ闘争」と呼ばれました。 1963 年 2 月、那覇市で、下校する途中の中学生在が青信号で横断中に、米軍のトラックにはねられて死亡しました。沖縄（琉球政府）の警察は取り調べる事も、逮捕する事も出来ませんでした。	P 2 7 1
(学び舎) 平和な島を返して 1995 年、米兵が 12 歳の少女に暴行する事件が起き、これに抗議する県民総決起大会が開かれました。8 万 5 千人が集まり、高校生代表は「軍隊の無い平和な島を返して下さい。」と訴えました。	P 2 7 7
高度経済成長 (自由社) 岸内閣が退陣した後に首相になった池田勇人は、10 年間で所得を 2 倍にするという所得倍增計画の政策を掲げた。その後、自民党は結党の時に掲げた自主憲法の制定や、防衛力強化という課題を先送りするようになった。	P 2 6 0
外交関係の進展 (自由社) 1965 年（昭和 40 年）日本は韓国と日韓基本条約を結んで国交を正常化し、有償無償 計 8 億ドルの協力を韓国に支払った。	P 2 6 1
日本の底力を世界に示した昭和 39 年の東京オリンピック (自由社) 東京オリンピックは、大東亜戦争により焦土と化した日本が、戦後僅か 19 年後に、その勤勉さと組織力によって「世界の奇跡」と呼ばれる大復興を成し遂げ、その底力を世界に知らしめる事ができた歴史的な出来事だった。	P 2 6 2 ～ 2 6 3
昭和天皇 ー 国民と共に歩まれた生涯 ー (自由社) *真面目で誠実なお人柄 御名は廸宮裕仁（みちのみや ひろひと）幼少の頃から極めて真面目で誠実なお人柄だった。 即位の後に鹿児島から軍艦に乗って帰郷される時、天皇が暗くなった海に向かって一人挙手の礼をされ	

ているのを、お付の者が不思議に思って陸の方をみると、お見送りする為に住民が焚いたと思われる篝火の列が見えた。天皇はそれに向けて答礼されていたのだった。

「君臨すれども統治せず」という君主のあり方は、武家が政権を取り、朝廷は国家の安寧を祈るという日本の政治形態にも似ていた。

しかし、国家が危機に陥り、政府が機能しない時には君主自らが決断しなければならない場合もある。

1936 年（昭和 11 年）の二・二六事件の時、天皇は将校達の武力行為に対し、厳しい態度で臨み、反乱軍と見なして鎮圧を命じた。又、終戦の時にも、鈴木貫太郎首相は天皇に判断をゆだねた。

昭和天皇は「国を守りたい」と終戦の聖断を下された。

* 沖縄への思い

1988 年（昭和 63 年）の秋、病床に伏した天皇は、医師に「もうだめか」と尋ねられた。医師は「もう長くはないのか」という意味だと思ったが、そうではなかった。この時に詠まれた御製。

「思はざる 病となりぬ 沖縄をたづね果たさむ つとめありしを」

この前年、沖縄行幸が決まっていた。国内最大の地上戦となり、戦後もアメリカ軍の占領下にあった沖縄への行幸は、昭和天皇の悲願だった。天皇のお言葉は、自らの最後を悟られて「沖縄へ行幸するのはもうだめか」という意味だったのだ。

P 2 6 6 ~ 2 6 7

中国の台頭 （自由社） 尖閣問題

中国は急速な軍備拡張を進め、チベットやウイグルなどの支配を強め、周辺海域や海洋への進出を強化している。又、尖閣諸島の領有権を主張し、頻繁に漁船、公船、航空機を日本の領海、領空に侵入させているが、日本は「尖閣は日本固有の領土であり、領土問題は存在しない」との立場をとっている。

尖閣諸島は 1885 年からの調査に基づき、1895 年に日本政府がどの国にも属していない事を確認し、閣議決定し、日本領土に編入した。最盛期には 200 人以上の日本人がカツオ節製造などの為に居住していた。戦後アメリカの政府下にあったのが、1972 年の沖縄返還に伴い日本に戻った。

P 2 7 2

朝鮮半島と日本 （自由社） 拉致・竹島問題

北朝鮮は 1970 年代から日本人を拉致し、自国の体制強化の為に利用した。日本は 3 度に亘り、拉致被害者と家族の一部を帰国させたが、依然として数百名とも言われる日本人同胞が拘束されている。

竹島は日本固有の領土であるが、韓国は竹島を自国領と主張し、1953 年から武装警察官を常駐させて不当な占拠を続けている。竹島は江戸時代には鳥取藩の人が幕府の許可を得て漁業を行っていた。1905 年（明治 38 年）国際法に従って我が国の領土として島根県に編入し、以降実効支配を行っていた。

P 2 7 2 ~ 2 7 3

日本の進むべき道 （自由社）

2006 年（平成 18 年）に改正された教育基本法では、「伝統と文化を尊重し、それらを育んで来た我が国と郷土を愛すると共に他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う」という教育目標を掲げている。日本には古来、美しい田園と美しい社会を築いてきた豊かな伝統がある。21 世紀を迎えた今、日本人

は自らの歴史に自信と誇りを持ち、優れた日本文化を世界に発信し、人類の平和と発展に貢献していく事が求められている。

P 2 7 3